

指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP1-22
研究課題名	原爆被爆者における放射線被曝と心筋梗塞発生率の関連についての検討
研究責任者（所属）	栗栖 智（放射線影響研究所）
研究期間	倫理委員会の承認日から論文原稿受理まで2年を予定しています。
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>利用目的：</p> <p>これまで放影研では、原爆被爆者の皆様にご協力いただき、放射線被ばくと心筋梗塞の発生との関係を調査してきました。これまでの結果からは、被ばく線量と心筋梗塞の発生や死亡に関係はみられません。しかし、被爆時に40歳未満であった方に限ってみてみると、心筋梗塞発生に関連する可能性が示唆されています。今回の研究の目的は、放射線被ばくが心筋梗塞の発生に関連するのかを可能な限り正確な診断に基づいて明らかにすることです。</p> <p>利用方法：</p> <p>放影研での健診（成人健康調査）に参加されている方の健康記録（医療歴や心電図など）から心筋梗塞の診断を調べて、被ばく線量との関連を解析します。使用する情報はすべて匿名化され、研究に用いられます。</p>
他の機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 有（提供先機関： ） <input checked="" type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>放影研に記録されている以下の情報：</p> <p>性別、都市、生年月、被ばく放射線量（DS02の線量を用い、中性子線のRBEを10とした線量を1mSv単位で丸めたもの）、爆心地からの距離、心筋梗塞に関連する情報（診断名、発症日、症状、画像情報、治療歴（冠動脈バイパス術、ステント留置術など）、がんに対する放射線治療歴、死因、死亡年月、生活習慣に関する情報（喫煙歴など）。</p>
利用する者の範囲	<p>放射線影響研究所</p> <p>栗栖 智</p> <p>山田美智子</p> <p>三角宗近</p> <p>スポスト・リチャード</p> <p>門脇ゆう子</p>

	坂田 律 立川佳美 中溝知樹 吉田稚明 今泉美彩 飛田あゆみ 大石和佳 広島大学 中野由紀子 長崎大学 荒川修司 前村浩二
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	栗栖 智 (放射線影響研究所)
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：栗栖 智 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131